

# 加古川市立八幡小学校 令和7年度 第3回 学校運営協議会 議事録

日時 令和8年2月20日（金）9時40分～11時30分

場所 八幡小学校 会議室

参加者 委員：連合町内会長、地域コーディネーター、老人クラブ会長、

学校ボランティア代表、PTA 会長

学校：校長、教頭

議事 ①授業参観

②開会あいさつ（校長）

1年間の取組についての報告と学校評価についての検討

③授業参観の感想、および、意見交流

【感想・ご意見】

- ・みんな楽しそうに、うなずきながら学習しているのはすごくよいことだと思う。先生の話をしっかり聞いている姿もよかった。1年を通して、落ち着いて学習している様子がうかがえた。「わかりましたか?」「いいですか?」などの担任の声かけにより、どもたちは、ていねいに教えてもらっていると感じた。
- ・どの教室を見ても、きちんと先生の方を向いているというところがこの学校の素晴らしいところだと思う。聞く姿勢ができているのは、学級経営がきちんとできているからだと感じた。「はい」という返事ができているのがよい。
- ・1年生と6年生の成長の変化に驚いた。学年ごとにそれぞれのレベルが違い、先生方は、学年に応じて身につけさせたいことを見極めながら上手にやられているし、今後も継続してほしいと思う。
- ・算数の専科教員の存在は、学級担任の負担軽減につながっていると聞き、今後も有効に活用してほしい。
- ・教室掲示は、担任の色が出ていて、それがよい。
- ・PC字入力がさらに速くなっていることに驚いた。文字入力を両手でできて

いることにも。

- ・何事も経験が大切である。時には発達年齢を超えた内容でも、したことがある、聞いたことがあるという、教科書以外のことが、今後の学びにおいて重要になることがあることを再確認した（作者と筆者の違い）。

#### ④学校評価の報告

学校教育目標に照らし合わせた学校評価を行った。特に今年度の3つの重点目標について振り返るとともに、来年度に向けての改善点について意見を交流した。

#### 【「互いに認め合い、個性や特性を受け入れる心を育てる人権教育の推進」について】

（地域支援コーディネーター）

- ・ゆとり教育の保護者が増えてきており、何不自由なく育ってきた方（苦勞せずして、育ってきた）が多い印象を受ける。携帯があれば何でもできるのは、大変便利であるが、だからこそ人とのつながりを意識した取組が大切。学校では、縦割り班を通して、子ども同士のつながりの仕組みができていることに感心している。
- ・先日の感謝集会のように、自分たちの学校生活がたくさんの方々により支えられていることに感謝を伝える場はすばらしいと思う。同時に保護者もその意識をもってほしいと思う。

（連合町内会長）

- ・縦割り班で、違う学年でもお互いのことをよく把握し合っており、大きい子が小さい子のお世話をする姿が微笑ましい。

（PTA会長）

- ・人の個性に対して、その違いを当たり前として理解して、その人を認めることが重要だと思う（権利主義を主張する若者が増えていることも心配）。

（地域ボランティア代表）

- ・八幡は小さな学校なので、もまれていないことも心配。中学校や高校に進んで、気後れせず過ごせれば。

#### 【「自ら学ぼうとする意欲を育てる学習指導の充実」について】

(学校支援コーディネーター)

- ・協同的探究学習で、地域の学習を深めたり、職業人と語ろうでは、子どもの意欲を大切にしたい取組が素晴らしく、今後の取組が楽しみである。
- ・子どもだけでなく、実際に顔を見て話をするなどの場面が必要。
- ・声に出して読むことの大切さを先生方の授業から再確認させていただいた(音読、黙読、書くは基本)。

(連合町内会長)

- ・先生が子どもたちの興味をもたせる取組が素晴らしい。学習指導においてもさまざまな情報をうまく取り入れて取り組まれていることがよく感じられる。

(PTA会長)

- ・たくましさとは、地道に自分のことをし続けることができる子とのことであるが、保護者に理想の姿を具体的に示していくことが必要。

(学校ボランティア代表)

- ・スマホ等でわからないことを調べることが容易になっている(世の中が、より効率的さを求めており、コスパ、タイパ重視に)が、敢えて、本の辞書を使うなど一見面倒だと思われる活動も大切にしてほしい。

### 【「自らの目標に向かう、年間を通した体力づくりの推進」について】

(学校支援コーディネーター)

- ・休み時間に子どもの様子を見に来ているが、八幡の子は外遊びを楽しんでいるように思う。しかし、昔に比べて、今の子は体力が落ちてるとも感じる。

(連合町内会長)

- ・八幡小の校区は町の方に比べて本当に広く、登下校だけで結構な体力を身に付けられると思う。夏の暑い日、冬の寒い日に歩いて登校している姿を見ると、子どもたちは強いと思う。しかし、送迎児童が増えていることを聞き、大変驚いている(時代の変化といえばそれまでなのだが)。

(PTA会長)

- ・学校長の「やはたっ子ぶろぐ」を見ると、学校で子どもたちが元気に遊ぶ様子が紹介されている(運動場を元気に走り回る姿、竹馬を楽しんでいる姿など)。実際、ブログやスクリレをどれぐらいの方が見ているのか?学校の今の様子

がよくわかるのでこれからも発信を続けてほしい。

(学校ボランティア代表)

- ・参観には多く来てくれるが、その後の、全体行事への参加が少ないのが残念に思う。我が子だけでなく、小学校生活の成長の課程（成長した姿）がどうなるのかも見てほしい。
- ・たくましさを求める保護者が少ないようだが、自分の力で生きていくためには必要な力であると思う。学校だけでなく、家庭、地域が手を取り合っていけたらと思う。

## 5. まとめ

校長は今後の課題として、教職員の業務負担軽減や、地域との連携を強化する必要性を強調した。会議は参加者の意見を受けて、学校の教育活動をより良くするための協力を呼びかける形で締めくくられた。

この学校運営協議会は、教育の質向上に向けた意見交換の場であり、参加者が学校の現状を理解し、今後の改善点を共有する重要な機会となった。